

問1 植物の種子の中にふくまれている、植物が発芽したり成長したりするために使われる養分の名前は何ですか。

1. でんぷん 2. 水 3. 肥料 4. 空気

問2 植物にあたえることで、葉の数を多くし、あたえないときよりもよく成長させるものは何ですか。

1. 空気 2. 水 3. 日光 4. 肥料

問3 種子を水の中に完全にしずめてしまうと、発芽しなくなることがあります。これは、水が多すぎることで、種子が何にふれることができなくなるからですか。

1. 肥料 2. 日光 3. 空気 4. 土

問4 種子の中にでんぷんがあるかどうかを調べるために使われる、特別な液の名前は何ですか。

1. 石灰水^{せっかいすい} 2. ヨウ素液 3. 食塩水 4. ただの水

問5 種子の中にある「根・くき・葉になる部分」は、成長すると植物のどの部分になりますか。

1. 根、茎、葉^{くき} 2. 花、実、種子 3. 子葉、養分、種皮 4. 水、空気、肥料

問6 インゲンマメなどの種子に^{ふく}含まれていて、発芽するときに養分として使われるものは何ですか。

1. 空気 2. 水 3. 二酸化炭素 4. でんぷん

問7 種子から新しい芽が出てくることを何といいますか。

1. 開花 2. 受粉 3. 発芽 4. 光合成

問8 植物に肥料をあたえて育てたとき、肥料をあたえずに育てたときと比べて、葉の数はどのようにになりますか。

1. 肥料をあたえないときと、葉の数は変わらない。 2. 肥料をあたえないときよりも、葉の数が多くなる。 3. 肥料をあたえないときよりも、葉の数が少なくなる。 4. 肥料をあたえないときよりも、葉がすべて^か枯れて落ちる。

問9 ヨウ素液をでんぷんにかけると、液の色は何色に変化しますか。

1. 青むらさき色 2. 赤色 3. 黄色 4. 緑色

問10 インゲンマメなどの種子が発芽するとき、光は必要ですか。

1. 絶対に必要である 2. 必要ない 3. 水がないときだけ必要である 4. 空気がないときだけ必要である

問11 種子が発芽するために、絶対に必要となる3つの条件の組み合わせはどれですか。

1. 水、空気、肥料 2. 水、日光、肥料 3. 空気、日光、適した温度 4. 水、空気、適した温度

問12 種子が発芽するために、水や適した温度のほかに、どうしても必要なものは何ですか。

1. 肥料 2. 土 3. 空気 4. 日光

問13 種子が発芽して根やくき、葉が育つにつれて、種子の中にあるでんぷんの量はどのように変化しますか。

1. 発芽や成長のために使われて少なくなる。 2. 使われないため変化しない。 3. 発芽や成長のために使われて多くなる。 4. 水に溶けてすべて空気中に出ていく。

問14 植物に肥料をあたえないで育てると、植物の育ち方はどのようにになりますか。

1. 葉の数が少なくなり、くきがどんどんのびます。 2. 葉の数が多くなり、くきがとても太くなります。 3. 葉の数は変わりませんが、花がすぐにさきます。 4. 葉の数が少なくなり、くきがあまりのびなくなります。

問15 発芽に水が必要かどうかを調べる実験で、水以外の「空気」や「温度」の条件を同じにするのはなぜですか。

1. 実験にかかる時間を短くするため。 2. 水と空気と温度がすべてそろうと発芽しなくなるから。 3. 水だけのえいきょうを正しく比べるため。 4. 種子が発芽するのを防ぐため。

問16 種子の中にあり、成長すると植物の根、^{くき}茎、葉になる部分を何といいますか。

1. 子葉 2. 根・くき・葉になる部分 3. 養分をたくわえる部分 4. 種皮